

読者のひろば

読者の皆様からいただいたお便りの中から、
ご意見や情報などを紹介します。



毎 月楽しみにして欠かさず読んでいます。長年、教育の仕事に携わってきましたが、少子高齢化が進み共働きの家庭が多い社会の現状、特集の病児保育・ファミリーサポートセンターの制度、なんてすばらしい制度なんだろうと思いました。また、昨年の4月から利用料が無料。まさに「親子の味方」。安心して子育てしながら働ける制度ですね。広報かのやでたくさんの人に知っていただけて助かる保護者や地域で子育てを助け合う環境がさらに整うことを願っています。「子は宝」です。(R・Nさん)

子育ては喜びに満ちた経験である一方、時に大変なこともあります。しかし、行政や地域社会が提供するさまざまな制度やサポートを活用することで、少しでも負担を軽減し、楽しい子育てライフを送ることが出来ます。周囲のサポートを受け入れ、情報収集を怠らずに、親と子で一緒に成長していけたらいいですね。

12 月号に掲載された市制施行20周年シリーズ(5)「かのや紅はるかかの誕生」を拝見いたしました。誕生までに至る交配組合わせ、ブランド産地化を図るための様々な取り組みを知りました。鹿児島県(民)は、黒牛やお茶のように日本一の産地なのにPRが弱い傾向があります。こんなふうに「かのや紅はるかか」をもっと全国に広めて、「はるかか」に知名度を誇る日本一のサツマイモになってほしいと切に思いました。(鹿屋小市民さん)

日本一の産地であるにもかかわらず、PRが弱いというご意見をいただき、ありがとうございます。本市としても地域の魅力や特産品を全国に広めるために様々な取り組みを行っています。地域住民や関係者が一丸となってPR活動に取り組むことで、より強いメッセージを発信できるはずですよ。日本一の知名度を誇る産地になるために、共に努力していきましょう！

フォトネタ!



かのやばら園のスイセン

かのやばら園のイングリッシュガーデンの西側に咲くスイセン。美しい花をつけますが有毒なので、葉をニラと間違えて食べないよう注意が必要です。

編集後記

恵 まれた環境で子育てをしたいい、皆そうだと思います。その定義は人それぞれだと思いますが、私は鹿屋での子育ては恵まれているなあと感じています。(新牛込)

方 向音痴なものもあり、遠出する時はナビを頼りに運転します。ナビばかり見て、行く道の景色が頭に残らないのはさみしいことだなど思うようになりました。(堂込)

巻 き込まれるということは、マイナスのイメージがありますが、逆に言えば大切なつながり。そう思って、予定外のことで笑顔で対応できるように頑張ります(麓)

き ちんと整理整頓することが好きで、断捨離は得意ですが、義母から妻が赤ちゃんの時の洋服をもらい、物を大切にとっておくことの大事さを感じました。(牧野)

お便り&メッセージ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽せん・賞品(賞品引換券)の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはありません。